

あすなろの木

光明中だより
編者: 校長 上田 薫
No. 2号
平成30年4月25日

「春、真の盛り」
学校が元気だ！！
～子どもたちの活躍～



＜はじめに＞

先日(土・日)は、一気に夏がやってきたような 陽気となりました。特に日曜日(今週)は、朝から気温が上がり、初に住んでいる奈良市の最高気温は、29℃「夏日」になりました。本当に暑かたですね。思わず半袖の服装で出かけました。

そんな暑さの中、土・日にかけて運動部者軸では春の大会(県の選手権大会×市民体育大会等)が公式戦)が始まり、頑張る姿々々報告も、心踊らせています。土曜日は女子バドミントン部が県大会に出かけ、一戦目に月形利二戦目には徳島県立と初戦敗退ながら敗れてしまいました。翌日の日曜日は、本校がコートで、ホカ一部が県バドミントン部と戦いました。この日は応援する姿が良かったので、保護者の声々や選手OB、そして数人の先生方にも応援の姿が見られました。前半は対して折り返し、勝負は後半に... 一進一退の攻防をくり返し、何と終る間際に春の大会が終わり、勝利した瞬間は思わすすがすがしいながら大声をあげ喜びました。「よしやー!!」体格的には相手の方が勝(負)ていたが、その心と意気と運動量が勝負してくれました。あの保護者の声々も、とても感動しました。とあって下さい。甲斐からバドミントンの挑戦をかけた試合は、同点の上、PK戦でいさ敗れてしまつたと聞かされたが、次につづける「自信」

を添めてくれたのではないかと。

その他、クラブでは野球部、ソフトテニス部も練習に、そして体育館では女子バドミントン部が練習試合を、また校舎内では吹奏部が合同練習(演奏)で音色を整えている。学校内外で本気で子どもたちの躍動感あふれる様子が展開されている。これからゴールデンウィークにかけて、子ども達「春」の活動、みんな頑張れよ!!

＜感動の風を起そう!＞No.2

前回の創刊号で本校のローンを伝えました。この光明から感動の風を起そう!と語りました。今日の前半も伝えたい。君たち「かきこら」に取組む姿に人は自然に拍手、声援、そして応援してくれます。ママさんの「感動は伝へる」と言葉通り、みんな心に熱いものを伝えている。感動の風は一人一人誰もが為(成)せる。起こせることだ。何れ、主役がある。君たち自身が感じてもらいたいことだ。

今日(土・日)私は朝から本校スクールカウンセラーの石田さん(別に詳しく紹介しよう)に学校案内をしていました。朝の会〜1時間目が始まるまで、廊下で数人おん(全員の声)が、にこにこ笑顔で「おはようございます」とあいさつしてくれました。みんなから「校長先生! 当日の前日」と言われそうなおもいせせん。私はね、先日の朝の会歓迎会で2・3年生のみんなが、「私とあいつが交わった人?」の噂をきいた。たぶん人たちが手を取ってくれた。光景が用器(あつ)に流れている。子ども達も流れている。あの時の君たちの反応、とても温かい雰囲気。「うさーこれが光明中よ!」と心に感動を思い出したのです。今日(土・日)の朝のあいさつで、みんなとても良い気持ちで居た。一日のスタートを切ることであります。そして今日初めて来た石田カウンセラーさんも、喜んでおられましたよ。

みんなで、この春感動をいっしょに起こしていこう!!
「あ! ピカ坂、これからたくさん感動を与えよう!!」

